

令和8年9月15日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市歯科診療所運営委員会
委員長 松島 潔

令和7年度事業報告書に基づく管理の実績についての評価（報告）

船橋市歯科診療所運営委員会設置要綱第2条第3号の規定により、令和7年度事業報告書に基づき、中期目標達成期間における当事業年度の管理の実績について評価を行った。

中期目標に係る達成状況の評価については別紙のとおりである。

令和7年度 船橋市歯科診療所 中期目標達成状況評価

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

目標1 口腔ケアの充実

評価:S(令和6年度評価:S)

両歯科診療所において、評価対象者189名中、口腔内の状態が「可」と評価された者が177名、実績値は93.7%で、目標値(70%以上)を23.7ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

患者に対しては、それぞれの特性を考慮したブラッシング指導や模型・絵コンテなどを利用した分かりやすい説明をすることで、また介助者(支援者)に対しては口腔ケアの実践的な説明を行うことで、患者と家族双方が口腔ケアの重要性を認識し、口腔衛生に対する意識が改善され、今回の結果につながったものといえる。

今後も、さらなる口腔ケアの充実に取り組んでいきたい。

目標2. 摂食嚥下機能訓練による口から食べる機能の維持

評価:S(令和6年度評価:S)

両歯科診療所において、評価対象者61名中、経口摂取できる状態を維持できた者が61名、実績値は100%で、目標値(70%以上)を30ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

かざぐるま歯科診療所においては、嚥下食の患者が15名中1名、さざんか歯科診療所においては嚥下食の患者が1名中1名普通食になる改善がみられた。

今後も引き続き、家族や多職種と連携し、患者が経口摂取可能な状態を維持できるような取り組みを期待したい。

目標3. 固定診療の患者満足度

評価:S(令和6年度評価:S)

両歯科診療所において、実績値99.3%で、目標値(80%以上)を19.3ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

アンケートでは、優しく丁寧に診ていただいている、安心して通えるなどといった声が寄せられていた。

引き続き、患者・家族・介助者が安心して利用できる診療所であり続けられるよう取り組んでいきたい。

目標4. 訪問診療の患者満足度

評価:S(令和6年度評価:S)

両歯科診療所において、実績値99.1%と目標値(80%以上)を19.1ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

アンケートでは、親切・丁寧に診療していただいている、スタッフの対応が非常に

良いなどといった声が寄せられていた。

今後も需要が増えることが予想されるが、引き続き高い満足度の維持ができるよう取り組んでいただきたい。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標5 かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S(令和6年度評価:S)

指定管理料の予算額39,711,000円に対して、決算額が27,102,993円となり、実績値68.3%で、目標値(100%以下)から30ポイント以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

訪問診療において効率的に経路を組むことで診療件数を増やすこと、歯科材料や薬品類の管理を徹底し、経費を削減することなど工夫・努力を行っていた。

また、他団体や地域への周知など患者の増加へ向けた取り組みも行われていた。

引き続き効率的な診療所運営に努めていただきたい。

目標6 さざんか特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S(令和6年度評価:S)

指定管理料の予算額68,798,000円に対して、決算額が54,717,439円となり、実績値79.5%で、目標値(100%以下)を20ポイント以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

材料等の使用量を指導することや輪番の歯科医師へ診療所で使用している材料の周知をすることで経費の削減に努める等、診療所を効率的に運営できるように取り組んでいた。

今後も安定した診療所運営に取り組んでいただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標7 従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する。

評価:S(令和6年度評価:S)

医療安全研修を2回、救急蘇生実習を1回、講習会を3回、それぞれ集合形式とWeb形式を併用したハイブリットな形で開催し、歯科診療及び関連する知識・医療サービスの向上や、診療所内でのスタッフ間の連携や情報共有等に努めていた。

今後も同様の研修を継続的に行い、安心安全な医療の提供に努めていただきたい。